

研究室だより

平成十三年度は学科長本多俊和（スチュアート・ヘンリ）、教務委員吉成薫が担当して学科運営にあたっている。

(1) 平成十三年度日本文化史学科専門科目および担当者

基礎・総合

（*は非常勤講師）

日本史通論	教授 山本博也、講師・博（文） 千葉功
日本文化史概論	特任教授・文博 後藤淑
歴史学概論	教授 山本博也、助教授 吉成薫
文化論A	教授・文博 スチュアート ヘンリ
文化論B	助教授 掛川典子
外国人の見た日本	特任教授 井手重昭 他
世界史通論	講師・Ph.D. 佐久間弘展
自然地理学概論	講師・文博 大山正雄
法学概論	講師・博（法） 高佐智美*
経済学概論	教授・経博 伊藤セツ
倫理学概論	助教授 掛川典子
宗教学概論	講師・Ph.D. 荒木美智雄
地理・歴史教育法	教授 田畑久夫
日本史	
日本中世史	教授 山本博也

日本近世史	講師 大口勇次郎*
日本近代史	講師・博（文） 千葉功
日本近代史特論	講師 奥武則*
史料解説	教授 山本博也
古文書解説	講師・博（文） 久保貴子*
文献講読B	助教授 掛川典子
文献講読D	講師・博（文） 千葉功
有職故実	講師・博（文） 久保貴子*
日本女性史	講師 児島恭子
比較女性史論	助教授 掛川典子
日本思想史	（本年度開講せず）
キリスト教文化史	助教授 掛川典子
日本科学史―洋学を中心に―	教授・理博 大沢眞澄
美術史	
日本美術史概説	講師 星山晋也*
美術史基礎	講師 内田啓一
日本美術史特論B	講師 内田啓一
日中美術交渉史	講師 星山晋也*
西洋美術史概論	助教授 木下亮
西洋美術史特論	助教授 木下亮
比較芸術学	講師 野村久康*
東西美術交渉史―シルクロードの東西交流―	

講師・文博 相馬隆*

日本建築史

教授・工博 平井聖

日欧建築交渉史

助教授・工博 堀内正昭

生活文化史

日本生活文化史概論

助教授 大谷津早苗

日本芸能史

助教授 大谷津早苗

日本芸能史特論

助教授 大谷津早苗

民俗学概論

教授 渡辺伸夫

民俗学調査法

教授・文博 後藤淑、助教授 大谷津早苗

民俗学特論A

教授 渡辺伸夫（本年度開講せず）

民俗学特論B—民俗と民具—

講師 小川浩*

日本服飾史

講師 村井不二子

服飾史基礎

助教授 安蔵裕子

日本服飾史特論

助教授 安蔵裕子

文献講読A

教授 関口静雄

仏教文化史

教授 関口静雄

禅と日本文化

助教授 田熊信之

日本食物史

講師 石川松太郎*

考古学

考古学概論

助教授 吉成薫、助教授 小泉玲子

考古学基礎

助教授 小泉玲子

考古学実習

助教授 小泉玲子、講師 御堂島正、講師

菊池誠一

考古学特論A—西アジアの考古学— 助教授 吉成薫（本年度開

講せず）

考古学特論B—東南アジアの考古学— 講師 菊池誠一

考古学特論C—石器時代の考古学— 講師 山本暉久

日本古代文化史 講師 菊池誠一

文化財学

文化財概論

教授・理博 大沢眞澄、教授 増田勝彦、

助教授 武田昭子

文化財科学概論

教授・理博 大沢眞澄

文化財科学基礎

教授・理博 大沢眞澄

文化財保存学

教授 増田勝彦（本年度開講せず）

文化財保存修復学基礎

助教授 武田昭子

文化財保存修復学

教授 増田勝彦、助教授 武田昭子

文化財保存修復学実習

教授 増田勝彦、助教授 武田昭子

文化財科学A（微生物学）

教授・農博 飯野久和

文化財科学B（繊維材料学）

教授・工博 小原奈津子（本年度

開講せず）

文化財科学C（建築材料学）

助教授・博（農） 中山栄子

文化財科学D（環境学）

教授・工博 佐野武仁

文化財科学E（染色工芸）

教授・工博 小ノ澤治子（本年度開

講せず）

文化財科学 F (繊維工芸) 講師 村井不二子

地域文化

人文地理学概論

教授 田畑久夫

地理学基礎

教授 田畑久夫

人文地理学特論

教授 井内昇

地誌通論

教授 田畑久夫

文化人類学概論

教授・文博 スチュアート ヘンリ

文化人類学特論

教授・文博 スチュアート ヘンリ

民族誌

(本年度開講せず)

東洋史概説

助教授 田熊信之

東シナ海文化交流史

講師 菊池誠一

文献講読 C

助教授 吉成薫

西洋古代文化史

助教授 吉成薫

西洋中・近世文化史

講師・Ph.D. 佐久間弘展

古代エジプト史

助教授 吉成薫

演習

日本史演習 A

特任教授 櫻井清彦

日本史演習 B

教授 山本博也

日本史演習 C

講師 大口勇次郎

日本史演習 D

講師・博(文) 千葉功

日本女性史演習

講師 児島恭子

比較女性史論演習

助教授 掛川典子

日本美術史演習

講師 内田啓一

西洋美術史演習

助教授 木下亮

比較芸術学演習

講師 野村久康

日本建築史演習

教授・工博 平井聖

日本芸能史演習

助教授 大谷津早苗

民俗学演習

教授 渡辺伸夫

日本服飾史演習

助教授 安蔵裕子

仏教文化史演習

教授 関口静雄

考古学演習

助教授 小泉玲子

文化財科学演習

教授・理博 大沢眞澄

文化財保存学演習

教授 増田勝彦

文化財保存修復学演習

助教授 武田昭子

人文地理学演習

教授 田畑久夫

文化人類学演習

教授・文博 スチュアート ヘンリ

東アジア文化史演習

助教授 田熊信之

東南アジア文化史演習

講師 菊池誠一

西洋文化史演習

助教授 吉成薫

文化史演習 A

教授 山本博也

文化史演習 B

講師・博(文) 千葉功

文化史演習 C

助教授 掛川典子

文化史演習 D

講師 内田啓一

文化史演習 E

助教授 木下亮

文化史演習F	助教	大谷津早苗
文化史演習G	教授	渡辺伸夫
文化史演習H	助教	安蔵裕子
文化史演習I	教授	関口静雄
文化史演習J	助教	小泉玲子
文化史演習K	教授・理博	大沢眞澄
文化史演習L	助教	武田昭子
文化史演習M	教授	田畑久夫
文化史演習N	教授・文博	スチュアート・ヘンリ
文化史演習O	講師	菊池誠一
文化史演習P	助教	吉成薫
文化史演習Q	教授	増田勝彦
博物館学関係科目		
博物館学A	講師	石井則孝*
博物館学B	教授	増田勝彦
博物館学C	講師	石井則孝*
教育学概論	講師	松本淳
生涯学習概論	教授	大串夏身
視聴覚教育メディア論	講師	大明敦
博物館実習I	特任教授	岡本光民、助教
博物館実習II	助教	小泉玲子、助教
博物館実習III	特任教授	岡本光民、助教

館務実習		
博物館実習―模写―	講師	板倉公明*
博物館実習―測量―	講師	藤沼俊行*
博物館実習―製図―	教授・博(工)	友田博通
設計・製図(基礎)	助教・博(工)	金尾朗
工芸史	特任教授	岡本光民
茶道史・茶道演習	講師	小堀宗慶、講師
	川晴代	小堀正晴、講師戸*
建築特講―歴史的建造物の保全・活用―	助教	堀内正
日本映像文化史	昭(本年度開講せず)	
	講師	野島孝一
(2) 平成十二年度 日本文化史学科卒業論文題目一覧		
題 目	氏 名	指導教員
○庚申信仰に関する一考察―静岡	足立美幸	(田畑久夫)
○県周智郡森町を事例として―		
○安政の大獄について―井伊直弼	石田有紀	(芳賀 登)
を中心に―		
○賀茂祭からみる賀茂斎王の姿	石渡 紫	(児島恭子)
○歌舞伎女形の芸の変遷―江戸時	磯真寿美	(大谷津早苗)
代から近現代へ―		
○古代中国における呪術と道教思	浦田静香	(田熊信之)

想について―殷代から後漢末までの道教形成期の時代―

○蒋介石―英雄になれなかった英雄―

○どんどん焼きの地域的性格

―栃木県芳賀郡益子町田野地区を事例として―

○平安貴族の調度品

○会津戦争のあとで―陸奥国斗南藩を中心として―

○上杉謙信の後継者と御館の乱

○稚児草紙にみる平安時代の宗教事情

○稲作の起源と伝播における一考察

○系図・デザインにおける葵紋の変遷

○上杉鷹山と藩政改革

○歌舞伎舞台の花道について―名前の由来と存在意識―

○カラヴァッジョの『受胎告知』について―晩年期の作品を中心

枝村敦子 (千葉 功)

大山範子 (田畑久夫)

岡部裕子 (村井不二子)

岡本盛子 (芳賀 登)

小川幸代 (山本博也)

小野恵美子 (関口静雄)

折茂優子 (田畑久夫)

片岡小百里 (安蔵裕子)

國井智子 (山本博也)

國友麻生 (大谷津早苗)

小林杏子 (木下 亮)

に―

○放射性炭素年代測定法の歴史―日本考古学界に与えた影響と共に―

○ララ物資を支えたもの

○甲冑の変遷と比較

○飛鳥・奈良時代における服装について―天寿国繡帳、高松塚古墳壁画を参考に―

○ゴッホにおける太陽の象徴性について

○『鳥の群れ飛ぶ麦畑』

○陰陽道の研究―反閨を中心として―

○江戸時代の人々の色彩感覚について―浮世絵、大衆文学にみる茶色―

○女性韓服に見る朝鮮半島の人々の民族性

○武蔵国における中世城郭の変遷

○絵画に映し出されたカフェの考察―19世紀フランスモンマルト

坂本 緑 (大沢眞澄)

佐々木瑠衣子 (奥 武則)

嶋田飛鳥 (村井不二子)

志茂康子 (村井不二子)

杉崎淳子 (木下 亮)

鈴木晶子 (木下 亮)

須永奈美江 (関口静雄)

武村桃子 (安蔵裕子)

田村有希 (村井不二子)

富澤典江 (山本博也)

中村早春 (野村久康)

ルを中心として―

○江戸町人文化における友禅染

羽鳥京子

(村井不二子)

○多文化主義について―アメリカにおける文化論―

朴 明淑

(ステュアート・ヘンリ)

○磯出と浜降りの神事に関する研究―大祭礼とヤンサマチを事例として―

肥後由起呼

(田畑久夫)

○納豆の歴史―茨城が納豆王国になった成り立ちと現況―

平田祥子

(田畑久夫)

○『源氏物語』紫の上の性格からみた服装

平野るり子

(村井不二子)

○新撰組の引越

福丹ちえ子

(平井 聖)

○善光寺平における地域性と時代の再検討―弥生後期の住居址と土器を使って―

藤井 恵

(小泉玲子)

○江戸時代の庶民の美意識―演劇における廓表現から―

藤田智子

(大谷津早苗)

○地獄絵からみる日本人の地獄観

松野亜希子

(星山晋也)

○本ウダツ、袖ウダツにおける発生と変遷について

宮原由紀子

(平井 聖)

○戦後プロ野球ユニフォームの変遷

宮林淑恵

(村井不二子)

○福島県郡山市の発展に関する一

室井美佐子

(田畑久夫)

考察―商工業の展開―

○西鶴の好色物について―「好色

森田雪華

(大谷津早苗)

一代男」を中心として―

○百鬼夜行―付喪神を中心に―

森平玲世

(関口静雄)

○江戸時代の化粧―白粉を中心として―

矢部裕香

(村井不二子)

○幕末・明治期における相模原市域農村の変遷―絹の道を中心として―

山口和泉

(芳賀 登)

○石見銀山についての一考察

山橋智恵子

(田畑久夫)

―社寺分布図からみる銀山の栄枯盛衰―

○中国・日本における女帝の時代

由田智美

(田熊信之)

○漢字のはじまりについて

吉野智子

(田熊信之)

―丁公陶片を中心に―

○身体論から見た近・現代の女性観

綿貫多恵

(掛川典子)

○遺跡出土の建築材について

荒木史帆

(小泉玲子)

―群馬県内の木製品からの一考察―

○記録資料の利用と保存について

石井岳美

(増田勝彦)

一考察―近代文書を例に―

○Rembrandt―《寺院内のシメオン》に関する考察―

石部美苗
(木下 亮)

○北海道白滝文化(湧別技法)に
みる大陸文化とのつながり

板橋美幸
(小泉玲子)

○関東西南部における堀之内2式
土器について―横帯文・杵

今井明子
(小泉玲子)

状文を中心として―

○近代ハプスブルク家の女性たち

岩下由香
(佐久間弘展)

○維新と三井―財閥形成の基礎づ

臼田真紀
(芳賀 登)

くりへの道―

○特攻隊に表れる日本人の国民性

榎本良子
(奥 武則)

○縄文時代勝坂式土器に見られる

岡湖津絵
(小泉玲子)

蛇体装飾について

○「万葉集」の紅について

上代泰子
(村井不二子)

○視覚情報記号化の限界

川北智子
(野村久康)

○古代中国の法制―酷刑について

川嶋知子
(田熊信之)

の考察―

○聖なる女性としての斎王とその

河田玲子
(児島恭子)

意義

○狩野芳崖「悲母観音図」におけ

菅野麻衣
(星山晋也)

る模写性とオリジナリティ

○江戸時代前期服飾における有松

喜多佳子
(村井不二子)

絞りと庶民の生活風景

○隕石と日本の歴史

清澤くにこ
(大沢眞澄)

○明治時代の活版印刷の変遷と工
場の展開―東京都中央区京橋地
区を中心として―

小暮仁美
(田畑久夫)

○神楽面の修復と科学的調査

小林美和
(武田昭子)

○太平洋戦争への途―二・二六事

合田江理
(木村時夫)

件の意義について―

○中尊寺金剛院出土漆製品の保存

佐々木芽衣
(武田昭子)

科学的研究

○明治時代の美容法

佐藤道子
(村井不二子)

○アマルナ改革

志賀真知子
(吉成 薫)

○毛利元就の戦略・戦術

品川明子
(山本博也)

○着付けについて

鈴木妙子
(村井不二子)

○奈良朝写経の装幀について

砂川真弓
(増田勝彦)

○狩猟の変遷についての一考察

田中玲子
(田畑久夫)

―栃木県塩谷郡栗山村を事例

として―

○赤穂浪士 吉良邸討ち入りの史

中島斉香
(芳賀 登)

実について

○中尊寺金色堂の荘厳における思

中野りの
(星山晋也)

想的背景について

○ピカソとモノクローム―《ゲル

二カ》を中心に―

○てぬぐいについて

○近代における女性とズボンにつ

いて

○夫婦別姓―ジェンダーの視点か
ら―

○唐三彩のシルクロードにおける
東西交流

○救国の少女ジャンヌⅡダルク論

○曹洞宗における袈裟の変遷と意
義

○忠臣蔵―大石内蔵助の人物像を
中心に―

○戦国時代の食事とその作法―

『信長公記』『太閤記』『三河物
語』『日欧文化比較』からみる―

○遣欧使節団について

○親鸞の「悪人正機説」について
の一考察

○海老茶式部について

中村 泉 (木下 亮)

新村亜希子 (村井不二子)

野村直子 (村井不二子)

林 真規 (掛川典子)

半田享子 (田熊信之)

平井久美子 (佐久間弘展)

平塚葉月 (村井不二子)

平林葉子 (芳賀 登)

廣瀬めぐみ (山本博也)

広谷文香 (芳賀 登)

星野知子 (山本博也)

水野 香 (村井不二子)

○葛飾北斎の風景画について

―『画本東都遊』を中心として―

○結びの文化

○ミュシャと『明星』―『明星』

におけるミュシャのカットの重
要性―

○古代エジプトにおける王権観の
再考―フランクフォートとシル
バーマンから見る―

○中世出土漆器の研究―鎌倉市若

宮大路周辺遺跡群へ小町一丁目
一〇六番地―他地点―第1次―

へ小町一丁目一六番四他地点
―第2次―出土漆器を中心に―

○現代の擬洋風建築探し

○町屋における囲炉裏について

○知恩院蔵阿弥陀二十五菩薩来迎
図に関する一考察

○神戸・摩耶観光ホテルの歴史

○アクエンアテンのアマルナ改革
に関する考察

三好かな恵 (内田啓一)

村上由規 (村井不二子)

谷田部麻依子 (野村久康)

山上玲子 (吉成 薫)

山下ひろみ (武田昭子)

山下ひろみ (武田昭子)

吉原真奈美 (平井 聖)

石渡美明子 (平井 聖)

櫻田晶子 (星山晋也)

佐藤芳美 (奥 武則)

米島亜希子 (吉成 薫)

(3) 平成十二年度修士論文題目一覧

題目 氏名 指導教授

日本の養蚕業の推移と女性労働の位置―農業統計を用いて―

伊東瑞恵 (伊藤セツ)

少子化時代における育児の社会化―食を通じた保育園と家庭の連携に限定して―

遠藤貴子 (伊藤セツ)

幕末から明治における横浜外国人居留地の地域形成および居留外国人の活動に関する研究―神戸との比較―

阿部千春 (スチュアート ヘンリ)

近代中国における旗袍の変遷―上海を中心として―

謝 黎 (スチュアート ヘンリ)

天神に関する一考察

―『北野天神縁起絵巻 承久本』とその前後―

鈴木優子 (関口静雄)

(4) 平成十二年度研修旅行報告

本学科では、周辺の博物館・美術館等々の日帰りの見学・研修とは別に、夏期休暇を中心に各専門分野ごとに専任教員の指導の下にコースを選定し、研修旅行を実施している。平成十二年度の研修旅行は次表の通りであった。

分野	日程	研修地	参加人数	引率者
歴史	9・18～20	滋賀県 長浜城、大通寺、国友鉄砲の里、小谷城址、姉川古戦場、彦根城、多賀大社、西明寺、金剛輪寺、百濟寺、安土城跡、信長の館・考古学博物館、城郭資料館、草津本陣跡、石山寺、園城寺(三井寺)、日吉大社、比叡山延暦寺	13名	山本 博也
地理	7・26～29	島根県、鳥取県 松江市内(松江城、小泉八雲記念館他)、奥出雲たたらと刀剣館、株式会社安来製作所ワイエスエス島上木炭銃工場(日刀保たたら)、石見銀山資料館、羅漢寺、龍源寺間歩、八雲立つ風土記の丘、大山寺、弓ヶ浜、境港、美保神社、美保関灯台、日御碕灯台、出雲大社	16名	田畑 久夫
日本建築史	8・4～8	富山県、岐阜県、愛知県 五箇山、白山長滝(若宮修古館、白山文化博物館)、郡上八幡(町並み、宗祇水)、美濃(町	9名	平井 聖

		並み、今井家住宅、美濃和紙の 里会館）犬山（犬山城、明治村）	
--	--	-----------------------------------	--

また、博物館学芸員資格取得者には次表の研修旅行を実施した。

日程	研 修 地	参加人数	引率者
9・25～28	奈良県、京都府、大阪府 興福寺、東大寺、奈良国立文化財研究所、平 城宮跡資料館、法隆寺、室生寺、飛鳥資料館、 万福寺、国立民族学博物館、京都国立博物館	54名	武田 昭子 内田 啓一 千葉 功 佐伯 絵奈

この他にも、大山正雄講師が会津地方のエクスカッションを二泊三日の行程で実施した。

(5) 秋桜祭参加報告

平成十二年度「秋桜祭」（十一月一一・一二日）に、本学科は考古学研究会（顧問・小泉玲子助教授）が中心となって「古代人と食欲の秋」というテーマで参加し、縄文クッキーの復元、落とし穴の模型を展示し、夏に実施した発掘調査の報告を行った。また、「日本芸能史演習」（大谷津早苗助教教授担当）では「中世民衆の祭と芸能―田峯田楽と西浦田楽を中心に―」というテーマで、今まで行なってきた調査・研究の成果を展示・発表した。「日本建築史演習」（平井聖教授担当）では「ちやぶ台」というテーマで、平井教授の私的コレクションである数十種類にわたるちやぶ台を研究し、展示

した。

(6) 平成十三年度特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していただく「特殊研究講座」を開催している。

平成十三年度の文化史系の特殊研究講座は次の通りである。

樋口隆康氏（京都大学名誉教授・奈良県立橿原考古学研究所所長
文学博士）

「パルミラの発掘」 5月15日（火）

平野啓子氏（語り部・キャスター）

「語りは心の絵画」 6月19日（火）

小池三枝氏（前お茶の水女子大学教授）

「服飾に時代を読む―漱石作品を中心に―」 6月27日（水）

伊藤延男氏（東京国立文化財研究所名誉研究員・神戸芸術工科大学
学名誉教授・（財）文化財建造物保存技術協会理事長 工学博

士）

「文化遺産を護り続けて」 10月29日（月）

坂本満氏（聖徳大学教授・うらわ美術館館長）

「南蛮美術について」 12月7日（金）